

令和 7 年度 事業 報告

第1 都市及びその周辺部における良好な居住環境の整備促進並びに地域住民のふれあいの場と機会の提供を目的とする都市環境整備事業

1 まちづくりや建設技術に関する知見を蓄積するとともに、発注者支援や研修会等を通じてそれらを市町村や関係団体へ積極的に提供し、土地区画整理事業等のまちづくり事業の啓発指導及び促進、公共工事の品質確保、県市町村等職員の技術水準向上を目指す支援事業

(1) 都市計画、都市計画事業、土地区画整理事業等のまちづくりに関する調査研究、企画及び啓発事業

ア まちづくりに関する調査研究等

- ・令和6年度テーマ「多様なまちづくり手法」に関する調査研究の成果を市町村職員研修（協会主催）にて紹介した。
- ・令和6年度に引き続き「多様なまちづくり手法」を調査研究するため、昨年度に実施したアンケート調査による各自治体が抱える課題を整理したうえで、課題毎にケーススタディを実施し、各自治体の実情にあった課題解決手法を検討した。
- ・調査研究及び技術の向上を目的とした全国のまちづくり関係5団体で構成する任意組織「まちづくり研究会」を設置した。

イ まちづくりに関する研修会等の開催

関係市町村と連携を図り、豊橋市を始め45市町村及び豊橋牛川西部土地区画整理組合始め26組合の参加を得て研修会、地区研究会及び講習会を開催し、助言及び指導を行った。

① 市町村職員土地区画整理研修会

県職員等を講師に迎え、市町村職員を対象として、土地区画整理事業の全般について研修会を開催した。

開催日	会場	人員	内容
令和7年7月3日 令和7年8月25日	名古屋市公会堂	109名	・区画整理総論 ・土地区画整理事業に伴う市街化区域編入等について ・土地区画整理の事例紹介（安城桜井、安城南明治） ・まちづくりの最新の話題など

② 土地区画整理地区研究会

市町村職員、組合役員及び準備組合代表者を対象として、研究会を開催した。

開催日	会場	人員	内容
令和7年10月15日	清須市にしび創造センター ドレミホール	119名	・清洲駅前土地区画整理事業について ・新清洲駅北土地区画整理事業について ・まちを育てる ハード+ソフトのまちづくり

③ 駅周辺まちづくり事業研究会

駅周辺において事業を実施または予定している市町村職員を対象として、まちづくりに関する知識向上と意見交換を目的とした研究会を開催した。

開催日	会場	人員	内 容
令和8年1月15日	蒲郡市民会館 東ホール	70名	・中心市街地におけるまちづくり ・駅南地区の区画整理と直接施行実施報告 ・がまごおり「みらいキャンパス」 ・東港地区開発推進事業～ ・現地視察

④ 土地区画整理講習会

土地区画整理組合役員及び準備組合代表者等を対象として、土地区画整理に関する知識向上を図ることを目的とした講習会を開催した。

開催日	会場	人員	内 容
令和8年1月28日	ウインクあいち 小ホール2	102名	・南海トラフ地震への備え ・防災・減災のまちづくりの推進の取組

(2) 都市計画、都市計画事業、土地区画整理事業等のまちづくりに関する業務支援

市町及び土地区画整理組合からの依頼により土地区画整理事業等の業務を支援した。

○ 受託収益

区 分	地方公共団体		土地区画整理組合		計	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
調査・設計・事業計画 関係業務	7	90,970,000	0	0	7	90,970,000
換地関係業務	3	43,857,000	5	39,185,300	8	83,042,300
工事实施設計・積算・ 監督支援業務	2	3,564,000	1	1,083,000	3	4,647,000
運営業務	2	2,926,000	0	0	2	2,926,000
合 計	14	141,317,000	6	40,268,300	20	181,585,300

○ 業務支援団体数及び地区数

区 分	団 体 数	地 区 数
地方公共団体	10	12
土地区画整理組合	5	5
合 計	15	17

(3) 愛知県土地区画整理組合連合会等各種団体に関する事務

組合土地区画整理事業を促進させるため、26会員（令和8年3月末現在）が参加する愛知県土地区画整理組合連合会の事務局として、各種会議と研修会、講習会を通じ、啓発及び指導を行った。

この他に、中日本ブロック協議会及び全日本土地区画整理士会愛知県支部の各事務局を担っており、同じく啓発及び指導を行った。

(4) 公共工事の技術水準向上を図るための建設技術の普及啓発事業

ア 愛知県との共催による建設技術研修（実務研修）

県市町村等職員の技術力向上を目的として、愛知県との共催により土木技術に関連する研修を開催した。

開催日	会場	人員	主な内容
令和7年6月24日 ～ 令和8年1月8日 延べ18日間	オンライン研修 及び名古屋大学	623名	・災害実務講座始め14講座

イ 県市町村等職員を対象とする建設技術研修（特別研修）

県市町村等の技術職員を対象に、知識及び技術力の向上を目的とした研修を開催した。

① あいち建設情報共有システム研修

「あいち建設情報共有システム」（業務委託版）の提供にあたり、県や市町村などの発注者及び業務委託を受注する建設コンサルタント会社等を対象に、機能や操作方法を理解するための研修を開催した。

開催日	会場	人員	主な内容
令和7年9月2日 令和7年9月3日	オンライン研修	334名	・情報共有システムの概要 ・情報共有システム（業務委託版）の操作方法

② コンクリート工学講座

コンクリート構造物における損傷や劣化の要因とその抑制対策、さらにはそれらが構造物の変形性能に与える影響について学び、適切な維持管理の実現に向けた知識を習得するための講座を開催した。

開催日	会場	人員	主な内容
令和7年11月5日	愛知芸術 文化センター	46名	・コンクリートの劣化要因と抑制対策 ・構造物性能への影響と維持管理戦略

③ 地域住民と信頼を築くクレーム対応講座

様々な場面で住民と接する機会が多い県市町村等の職員を対象に、クレームが起きるメカニズムや相手の心情・要望などを理解し、初期対応で収める力を身につける講座を開催した。

開催日	会場	人員	主な内容
令和7年11月7日	ウィルあいち	51名	・クレームを引き起こす要因 ・コミュニケーションスキルの向上

④ 小規模コンクリート橋梁を対象とした導水工施工研修

橋梁の予防保全の観点からも有効である水切り導水工の施工について、管理者自らが実施するために必要な知識及び技能を習得するための研修を開催した。

開催日	会場	人員	主な内容
令和7年11月11日 ～ 令和7年12月4日 延べ5日間	岡崎市、飛島村、 知多市、豊川市、 尾張旭市	42名	・劣化・損傷事例とDIY補修について ・水切り導水工設置に関する実技演習

⑤ 技術アドバイザーによる技術講習会

県市町村等の職員を対象に、コンクリート構造物、鋼構造物、地盤工学・防災の分野で活躍する技術アドバイザーから、それぞれの専門分野における実務に役立つ知識を学ぶ講習会を開催した。

開催日	会場	人員	主な内容
令和7年11月26日	ミッドランドホール	140名	・ひび割れはコンクリート構造物の性能にどう影響するか？ ・鋼橋を維持管理するための技術者の着眼点と補修事例紹介 ・道路陥没の不思議から管理を再考する

(5) 県市町村に対する公共事業にかかる情報提供・技術支援

ア 道路橋定期点検支援業務

市町村が管理する道路橋の定期点検について、地域一括発注により、弥富市始め9市町村に対して353橋の点検支援及び健全性判定支援を行った。

イ 公共工事発注者支援業務

蒲郡市を始め8市町に対し、公共工事に係る設計、積算、監督、検査の支援を19件行った。

- ・蒲郡市 積算（1件） 監督（2件）
- ・稲沢市 設計（1件）
- ・知多市 監督（2件）
- ・豊山町 監督（1件）
- ・知立市 検査（2件）
- ・みよし市 検査（1件）
- ・設楽町 設計（1件） 積算（4件） 監督（2件）
- ・東栄町 監督（2件）

ウ 公共事業の建設技術に係る情報管理及び情報提供

公共事業における業務の効率化や電子化情報の蓄積・利活用を目的として、インターネットを利用した「あいち建設情報共有システム」を提供し、県及び市町村等が発注した4,417件の運用管理を行った。

○ 受託収益及び施設・システム利用収益

業務区分	金額(円)
道路橋定期点検支援業務（受託収益）	183,944,200
公共工事発注者支援業務（受託収益）	48,961,000
あいち建設情報共有システムの運用管理（施設・システム利用収益）	290,956,868
合 計	523,862,068

(6) 市町村等の業務にかかる新技術活用の調査研究等

監督支援業務等を効率化するウェアラブルカメラによる遠隔臨場の利用に向けて、山間部の通信状況を確認するとともに、「あいち建設情報共有システム」のオプション機能として検証を行った。

2 緑とオープンスペースの場である公園施設を地域交流のための多様な活動の拠点として活用し、地域住民にふれあいの場と機会を提供する事業

(1) ふれあいの場を提供する事業

指定管理者として管理運営する愛知県の都市公園施設を活用し、安らぎを感じさせる身近な自然空間、レクリエーションの場を提供した。

ア 施設の概要

公 園 名 (管理事務所名)	公 園 内 の 主 な 施 設	
	有 料 施 設	無 料 施 設
愛・地球博記念公園 (愛・地球博記念公園管理事務所)	茶室 アイススケート場（屋内施設） 駐車場 多目的広場（夜間照明付） 野球場（3面） 地球市民交流センター （体育館、体験学習室3室、多目的室4室、多目的スタジオ3室） サイクリングコース（貸自転車） 庭球場（人工芝8面（夜間照明付） 内2面庭球場兼フットサル場） 多目的球技場（天然芝1面） ロッカー クローク 猫の城遊具 魔女の谷のみえる展望台	愛・地球博記念館 こどものひろば 日本庭園 林床花園 親林楽園 大芝生広場（屋外ステージ） フィールドセンター 花の広場 西口広場 グローバルループ あいちアートスクエア フレンドシップ広場 あいちサトラボ 三日月休憩所フレンドシップ広場
牧野ヶ池緑地 (牧野ヶ池緑地管理事務所)	—	ゲートボール場（4面） 自由広場 芝生広場 多目的広場 児童野球コーナー
大 高 緑 地 ※1 (大高緑地管理事務所)	ゴーカート（単席、複席） 野球場（3面） 庭球場（全天候型14面） デイキャンプ場	児童野球場（1面） グラウンドゴルフ場（1面） 桜の園 四季の園 多目的広場 芝生広場 ドッグラン 屋根付き休憩所

公 園 名 (管理事務所名)	公 園 内 の 主 な 施 設	
	有 料 施 設	無 料 施 設
小 幡 緑 地 (小幡緑地管理事務所)	野球場（西園１面、東園１面） 庭球場（西園人工芝１２面） 球技場（西園１面） トレーニング施設（西園）	児童野球場（東園１面） ゲートボール場 （本園３面、東園１面） 児童広場（西園） 芝生広場（本園、西園、東園） 児童園（本園、東園） 野鳥観察の森（中央園） 水生園（中央園）
新城総合公園 ※2 (新城総合公園 管理事務所)	野球場（１面） 庭球場（人工芝６面） 競技場（１面） 陸上競技場（１面） 弓道場（近的１２人立、遠的６人立）	自由広場 芝生広場 子供広場 展望広場 わんぱく広場 ニュースポーツ広場 屋根付き広場
尾張広域緑道 (尾張広域緑道 管理事務所)	遊戯用自転車 トレーニング施設 体育室 体育館	多目的広場 展望塔 ディスクゴルフ（９ホール）
あいち健康の森公園 (あいち健康の森公園 管理事務所)	庭球場（人工芝１１面、 内４面夜間照明付） 球技場（１面） 体育館 会議室 ベビーゴルフ場（９ホール）	大芝生広場 健康ロード 交流センター 生きものの谷 いのちの池 子どもの森
東三河ふるさと公園 (東三河ふるさと公園 管理事務所)	—	修景庭園 展望ツツジ園 三河山野草園 ピクニック園地 三河郷土の谷 憩いの広場 東三河あそび宿 桜の広場

公 園 名 (管理事務所名)	公 園 内 の 主 な 施 設	
	有 料 施 設	無 料 施 設
油ヶ淵水辺公園 (油ヶ淵水辺公園 管理事務所)	—	【水生花園】 ドングリの丘 ハス池 桃の園 【自然ふれあい生態園】 ドングリの丘 ぶらリン休憩所 田んぼビオトープ ぶらリン広場 土の広場 トンボ池

〔備考〕

- ・油ヶ淵水辺公園

指定管理者指定日 令和4年12月20日、指定管理期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

- ・その他の公園

指定管理者指定日 令和2年12月16日、指定管理期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

※1 大高緑地は岩間造園株式会社と共同体を組み「愛知県都市整備協会・岩間造園グループ」として事業を実施した。

※2 新城総合公園は中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社と共同体を組み「愛知県都市整備協会・中日本エンジ名古屋グループ」として事業を実施した。

イ 業務の概要

- (ア) 利用者が安心安全・快適に公園を利用できるように、公園内の施設・機器等の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 公園の利用環境を整えるため、除草、清掃等の業務を行った。
- (ウ) 公園内の施設の損傷や異常を発見し、早期に必要な措置を講じるため、巡視業務を行った。
- (エ) 施設の利用受付・利用許可及び利用料金の徴収業務を関係規程に基づき行った。

○ 施設・システム利用収益

公 園 名	金 額 (円)
愛・地球博記念公園	500,701,362
大高緑地	17,463,850
小幡緑地	10,903,880
新城総合公園	4,242,250
尾張広域緑道	5,579,242
あいち健康の森公園	14,182,090
合 計	553,072,674

(オ) ウェブページ、パンフレットなどを活用し、施設の広報や利用案内を行った。

ウ 利用者の便宜向上を図る取り組み

(ア) 愛・地球博記念公園及びあいち健康の森公園内に、飲食品提供や記念品販売等のための売店を10店舗設置した。

(イ) 9 県営都市公園内に、清涼飲料水等を販売するため自動販売機を137台設置した。

(ウ) 大高緑地内で、家族等グループで楽しめる18ホールのベビーゴルフ場を運営した。

(エ) 4 県営都市公園内（大高緑地、新城総合公園、尾張広域緑道、あいち健康の森公園）で、未就学児童が楽しめるミニカー場を運営した。

(オ) 愛知県が牧野ヶ池緑地の多目的広場に設置した夜間照明設備を運営した。

(カ) 愛・地球博記念公園内で、園内の移動手段を補完し、利用者に楽しんでもらえるパークトレインを運行した。

(キ) 愛知県が愛・地球博記念公園内に設置したEV（電気自動車）充電設備を運営した。

(ク) 6 県営都市公園内において、テニスラケット等の用具の貸出しを実施した。

エ 愛・地球博記念公園におけるジブリパークとの連携

- ・ジブリパークと連携してスタジオジブリ作品を園内で上映する「野外上映会」などのイベントを行った。

- ・持込みイベントとジブリパークとの相互の干渉を防ぐため、音源や動線の調整を行った。

- ・愛知県及びジブリパークと、施設運営やサービス向上のための定例会議を行った。

- ・双方の売店でモリコロパークグッズとジブリパークグッズの相互販売を行った。

○ 販売収益及び施設・システム利用収益

収 益 の 別		金 額 (円)
販売収益		83,613,351
	売店収益	41,166,953
	自動販売機販売手数料	42,446,398
施設・システム利用収益		12,019,975
	ベビーゴルフ場	4,854,880
	ミニカー場	6,573,800
	夜間照明設備	408,720
	用具貸し出し	99,140
	EV（電気自動車）充電設備	83,435
合 計		95,633,326

(2) ふれあいの機会を提供する事業

ア 都市公園施設を活用し、ふれあいの機会の提供

多くの人に公園を利用し、楽しんでいただけるように、季節の花まつりやウォーキング、工作教室等、各種のイベントを開催した。

○ 協会企画イベント

会 場	実施回数	延べ参加人数
愛・地球博記念公園始め 9 公園	577 回	254, 592名

主なイベント

- ・モリジャズ JAZZ DAY、モリコロパーク de 雪遊び、モリコロパーク春まつり （愛・地球博記念公園）
- ・花梅まつり、さくらまつり、大高ほのぼの market （大高緑地）
- ・小幡緑地まつり 2025 （小幡緑地）
- ・新城総合公園開園 40 周年記念祭 （新城総合公園）
- ・けんもりフェスタ （あいち健康の森公園）
- ・ふるさと春まつり 2025、ふるさと満喫まつり （東三河ふるさと公園）

○ 企業等持込イベント

会 場	実施回数	延べ参加人数
愛・地球博記念公園始め 9 公園	191 回	675, 067名

主なイベント

- ・テレどまつり、全日本うまいもの祭り （愛・地球博記念公園）
- ・FREEDOM NAGOYA 2025 、 サムライ・ニンジャフェスティバル2025 （大高緑地）
- ・AICHI ウェルネスマルシェSpring2025、ハートフルフェスティバル （あいち健康の森公園）

イ 公園の情報発信に関する広報活動

- ・ホームページや地元広報紙等を活用して広く広報活動を行った。（全公園）
- ・Instagramを活用した「フォトコンテスト」を開催し、来園者層の開拓につなげた。（全公園）

（3）愛知県等が行う事業への協力

- ・愛・地球博記念公園で令和 7 年 3 月 25 日から令和 7 年 9 月 25 日まで開催した愛知万博 20 周年記念事業に指定管理者として積極的に協力をを行い、関連する自主イベントを実施した。
- ・小幡緑地で開催されるアジア競技大会「マウンテンバイク」競技における打ち合わせを県及び組織委員会等と行った。また、3月中旬にはプレ大会が開催され、準備の協力や調整を図った。

（4）Park - PFI 等を行う民間事業者との連携

- ・あいち健康の森公園において、開業予定である民間事業者と公園の維持管理等への対応について協議し、必要な協力を行った。
- ・大高緑地、新城総合公園、小幡緑地で営業する各民間事業者とイベントの連携を図るとともに相互の広報を拡充した。

（5）ボランティア活動の推進・拡大

愛・地球博記念公園に配置するユニバーサルサービスボランティアの運営を新たに行った。

（6）指定管理申請への取組み

協会の強みや各公園のアピールポイントを記載した指定管理者指定申請書等を県に提出し、令和 8 年度から 5 年間の指定管理者として選定された。これを受け、同年度からの指定管理協定締結に向けて愛知県との協議・調整を図るとともに、円滑な管理運営開始に向けた体制構築及び準備を進めた。

第2 水辺における安心・安全の確保及びふれあいの場と機会の提供を目的とする港湾環境整備事業

1 ふれあいの場を提供する事業

指定管理者として管理運営する愛知県海陽ヨットハーバーを地域交流のための多様な活動の拠点として活用することにより、マリンスポーツを通じて海洋に対する興味や関心を高めるとともに、水辺における安心・安全なふれあいの場を提供した。

ア 施設の概要

施 設 名 (管理事務所名)	ハ ー バ ー 内 の 主 な 施 設	
	有 料 施 設	無 料 施 設
海陽ヨットハーバー (海陽ヨットハーバー 管理事務所)	野積場 (18,059.62 m ²) 艇庫 (2棟) 固定式起重機 (1基) 移動式荷役機械 (1台) 附属ヨット (50艇) 給水施設 (33基) 船具用ロッカー (28個) 会議室 クラブハウス中央棟内(3室) クラブハウス西棟内(4室) クラブハウス東棟内(9室)	センタープラザ ロッカー クラブハウス中央棟内 (232個) クラブハウス西棟内(68個) シャワー クラブハウス中央棟内 (15基) クラブハウス西棟内(18基)

〔備考〕

指定管理者指定日 令和2年12月16日、指定管理期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

イ 業務の概要

- (ア) 利用者が安全快適に施設を利用できるよう各施設の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 利用者の安全確保、事故防止のため、職員による定期的な施設の巡視を行った。
- (ウ) 施設利用の受付・利用許可及び利用料金の徴収業務を行った。

○ 施設・システム利用収益

施 設 名	金 額 (円)
海陽ヨットハーバー	28,036,479

(エ) 出港艇の監視業務を行った。

(オ) ウェブページ、パンフレットなどを活用し、施設の広報や利用案内を行った。

ウ 利用者の便宜向上を図る取り組み

- (ア) 清涼飲料水等の自動販売機を3台設置した。
- (イ) 施設内に飲食を提供するためレストランを設置した。

○ 販売収益

販 売 収 益	金 額 (円)
自動販売機販売手数料	470,941

レストラン営業手数料	1, 321, 381
合 計	1, 792, 322

2 ふれあいの機会を提供する事業

海陽ヨットハーバーを活用し、次の事業を行った。

ア ヨット教室の開講

マリンスポーツとしてのディンギー型ヨットに関する知識・操船技術などを習得してもらうため、ヨット教室を開講した。

開 催 日	実施回数	人員	内 容
令和7年5月31日 ～ 令和7年9月7日	19回	83名	・ビギナーズコース（10回） ・スキルアップコース（9回）

イ ヨットレースの開催

広くヨット競技への参加機会を提供するとともに、施設利用者の増大を図るため、ヨットレースを開催した。

開 催 日	実施回数	人員	内 容
令和7年8月10日 ～ 令和7年10月11日	2回	136名 (54艇)	・海陽レガッタ（荒天のため中止） ・理事長杯ヨットレース（1回） ・ワールドカップレガシーレース（1回）

ウ ヨット体験乗船会の開催

ヨットの普及活動として体験乗船会を開催した。

開 催 日	実施回数	人員	内 容
令和7年5月10日 ～ 令和7年10月11日	5回	251名	・新入生歓迎ヨット体験乗船会（1回） ・海の日記念ヨット体験乗船会（1回） ・小学生ヨット体験乗船会（1回、1回は荒天のため中止） ・学生対象新入部員ヨット体験会（1回） ・三河湾周遊クルージング（1回）

エ その他海洋レクリエーションに関する広報活動等

海陽ヨットハーバーに関する各種の情報を発信するために、パンフレットやポスターの作成、ウェブページの活用の他、インスタグラムを使ったフォトコンテストやスタンプラリーの実施などにより、幅広く広報活動を行った。

3 2026年アジア競技大会への協力

「セーリング」競技における打合せを県及び組織委員会等と行った。また、8月末にはプレ大会が開催され、準備への協力や調整を図った。

4 指定管理申請への取組み

協会の強みや海陽ヨットハーバーのアピールポイントを記載した指定管理者指定申請書等を県に提出し、令和8年度から5年間の指定管理者として選定された。これを受け、同年度からの指定管理協定締結に向け

て愛知県との協議・調整を図るとともに、円滑な管理運営開始に向けた体制構築及び準備を進めた。

5 水辺における安心・安全を確保する事業

誰もが利用できる安心・安全な魅力ある水辺を提供するため、海陽ヨットハーバーを活用し、海難救助・消防訓練等を行い、海難事故防止に備えた。また、愛知県からの委託を受け、衣浦・三河の両港湾において、上屋等の港湾施設の管理を行うとともに、貨物船舶等に対する給水業務を行った。

ア 衣浦港・三河港の港湾施設

港 湾 名 (担当事務所名)	施 設 名
衣 浦 港 (衣浦港事務所)	上屋 (1棟) 給水施設 (4地区)
三 河 港 (三河港事務所)	上屋 (2地区5棟) 貯木場 (1か所) 木材整理場 (1か所) 給水施設 (2地区)

イ 業務の概要

- (ア) 上屋等の施設・設備等の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 施設の安全管理のため、職員による定期的な巡回点検を行った。
- (ウ) 上屋等の施設利用申請書類の整理などの補助事務を行った。
- (エ) 船舶給水施設の水質検査を実施するとともに入港船舶に対する給水作業を行った。

第3 愛知県都市緑化基金を活用し民有地の緑化推進への助成及び都市緑化に関する普及啓発を行う都市緑化基金事業

1 愛知県都市緑化基金の管理及び運用

国債、地方債及び普通預金により管理及び運用を行った。

○ 国債、地方債及び普通預金の管理状況

種 別	金 額 (円)
第23回大阪府公募公債 (20年)	600, 000, 000
愛知県令和5年度第8回公募公債 (10年)	100, 000, 000
第6回グリーン共同発行市場公募地方債 (10年)	100, 000, 000
第467回利付国債 (2年)	11, 982, 120
普通預金	1, 921, 565
合 計	813, 903, 685

○ 特定資産運用益

特定資産運用益	金 額 (円)
特定資産受取利息	8, 204, 653

2 愛知県都市緑化基金による都市緑化推進事業

(1) 市町村等の都市緑化を推進する基金で行う都市緑化推進事業に助成を行った。

市町村等名	事業実績	
	交付対象事業	助成金額（円）
岡崎市	保存樹・保存樹林の維持管理助成事業	684,000
碧南市	樹木配布事業	196,000
刈谷市	保存樹・保存樹林の維持管理助成事業	469,000
安城市	保存樹・保存樹林の維持管理助成事業	473,000
大府市	保存樹・保存樹林の維持管理助成事業 樹木配布事業	300,000
知多市	保存樹・保存樹林の維持管理助成事業	189,000
尾張旭市	保存樹・保存樹林の維持管理助成事業	28,000
長久手市	樹木配布事業	14,000
春日井市	保存樹・保存樹林の維持管理助成事業	195,000
公益財団法人豊橋みどりの協会	樹木配布事業	61,000
9市1公益法人 計		2,609,000

(2) 都市緑化に関する普及啓発事業

ア 第37回あいち都市緑化フェアを愛知県と共同で開催した。

開催日 令和7年4月29日

場所 県営大高緑地（名古屋市緑区）

協力団体 愛・地球博記念公園花ボランティア、あいちサトラボ里山開拓団 他27団体

参加者 約10,000名

イ 都市緑化講習会（健全で良質な緑づくり講座「緑地の管理について考える」）を愛知県等と共同で開催した。

開催日 令和7年11月10日

場所 愛・地球博記念公園 体験学習室

参加者 県内市町村の公園緑地担当職員等 98名

ウ 都市公園イベント等と連携し、パンフレットや花種の配布により普及啓発を行った。

実施日 令和7年10月22日～令和8年3月30日（19日間）

場所 尾張広域緑道始め7公園

連携イベント フレッシュパーク音楽祭始め10イベント

エ 都市緑化基金のPR用看板を作成し、都市公園イベントで使用し普及啓発を行った。

実施日 令和8年3月1日～令和8年3月29日（10日間）

場所 あいち健康の森公園始め3公園

連携イベント けんもりフェスタ始め4イベント

- オ ホームページをリニューアルし、引き続き緑化基金の概要及び実施事業について掲載するとともに、あいち都市緑化フェアにおいてパンフレットの配布を行い、寄付金の募集についてPRした。

第4 法人運営関係

1 理事会

(1) 令和7年4月1日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 専務理事（業務執行理事）の選定について

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

(2) 令和7年6月6日

開催場所 ホテル名古屋ガーデンパレス

決議事項 令和6年度事業報告及び事業報告の附属明細書について、令和6年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）について、定時評議員会の招集について

報告事項 職務執行の状況について

出席等 決議に必要な出席理事の数7名、出席10名、欠席2名、監事出席2名

(3) 令和7年6月25日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 常務理事（業務執行理事）の選定について

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

(4) 令和7年9月12日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 就業規程の一部改正について

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

(5) 令和8年1月7日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 定款第22条（決議の省略）による評議員会の開催について、役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について、常勤役員の報酬年額の改定について、非常勤理事及び評議員の報酬の支給額の変更について

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

(6) 令和8年3月5日

開催場所 アイリス愛知

決議事項 定款の一部変更について、中期経営計画について、公益充実資金の積立について、令和8年度事業計画について、令和8年度収支予算について、令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて、令和8年度公益目的事業の種類又は内容、収益事業等の内容について、就業規程

の一部改正について、財務規程の一部改正について、臨時評議員会の招集について

報告事項 令和7年6月以降の職務執行の状況

出席等 決議に必要な出席理事の数7名、出席9名、欠席3名、監事出席2名

(7) 令和8年3月25日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 公益充実資金取扱規程の制定について

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

(8) 令和8年3月26日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 定款第22条（決議の省略）による評議員会の開催について、評議員及び理事の選任について

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

2 評議員会

(1) 令和7年6月25日

開催場所 アイリス愛知

決議事項 令和6年度決算について、評議員の選任について、役員の選任について、監事の補欠選任について

報告事項 令和6年度事業報告について

出席等 決議に必要な評議員の数7名、出席9名、欠席3名、理事出席3名、監事出席2名

(2) 令和8年1月15日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について、常勤役員の報酬年額の改定について、非常勤理事及び評議員の報酬の支給額の変更について

出席等 提案書に対し評議員全員から書面による同意の意思表示を得て、評議員会の決議があったものとみなされた。

(3) 令和8年3月19日

開催場所 ホテル名古屋ガーデンパレス

決議事項 定款の一部変更について、中期経営計画について、令和8年度事業計画について、令和8年度収支予算について、令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて、令和8年度公益目的事業の種類又は内容、収益事業等の内容について

出席等 決議に必要な出席評議員の数7名、出席9名、欠席3名、理事出席4名、監事出席2名

(4) 令和8年3月27日

開催方法 決議の省略方法

決議事項 評議員及び理事の辞任に伴う後任者の選任について

出席等 提案書に対し評議員全員から書面による同意の意思表示を得て、評議員会の決議があったものとみなされた。

3 監査

(1) 決算監査

事前監査 令和7年5月23日

監査会 令和7年5月30日

場 所 事前監査 会議室D

監査会 会議室D

監査事項 令和6年度事業報告及び事業報告の附属明細書、令和6年度決算報告（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）

(2) 期中監査

第1四半期 令和7年8月22日

第2四半期 令和7年11月17日

第3四半期 令和8年2月13日

令和7年度事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので、公益財団法人愛知県都市整備協会定款第9条第1項第2号に規定する附属明細書は作成しない。